

## 岐阜県高等学校総合体育大会 柔道競技 申し合わせ事項

- 1 危険と思われる場合には、特に機を失せず「待て」の宣告をし、傷害事故を未然に防ぐようにする。本大会では、試合場が40.5畳で競技を行う。隣接部分においての事故防止にはくれぐれも留意すること。
- 2 絞技及び関節技の「見込み」による「一本」はとらない。
- 3 試合中、柔道衣の破損等により試合に支障をきたす場合には、同一チームの別の柔道衣（規定に合ったもの）の着用を認める。
- 4 試合中審判に意見（抗議）を言う監督に対しては三人の審判で合議し、その監督に言動を慎むよう注意をする。なお、続くならばその監督を退場させる。
- 5 チーム編成について
  - ①男子団体試合のチーム編成は、監督1名、選手3名以上で出場できる。3名の場合は先鋒・次鋒を空け、4名の場合は先鋒を空け選手を配列する。
  - ②女子団体試合のチーム編成は、監督1名、選手2名で出場できる。2名の場合は先鋒を空け選手を配列する。
- 6 試合における「両者反則負」の取り扱いについて
  - ① 個人戦、または団体戦の代表戦の場合
    - ・「同時一本」もしくは指導の累積により「両者反則負」の場合は、スコアをリセットし、ゴールデンスコア方式の延長戦において勝敗を決する。また、延長戦において指導の累積により「両者反則負」となった場合には、スコアをリセットし、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
  - ② 団体戦の代表戦以外の場合
    - ・「同時一本」の場合は「引分」とし、「両者反則負」の場合は両者負けとする。
- 7 ダイビングによる「反則負け」については、全国高体連柔道部申し合わせ事項により、その後の一連の試合に出場できる。（個人試合と、団体試合は別のものと解釈する。）
- 8 その他
  - ① 試合場におけるコーチの振る舞いについては、平成24年4月1日付け全柔連通達により、適切な対応をすること。
  - ② 脳震盪対応については、平成24年4月1日付け全柔連通達事項を遵守すること。
  - ③ 計量について
    - (1) 男子個人試合の計量は短パンで行い、サポーター等は全て外すこと。
    - (2) 女子個人試合の計量はTシャツ、短パンで行い、サポーター等は全て外すこと。
  - ④ 柔道衣について  
全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。  
※ただし、1年生のゼッケンに関しては、各校の事情も考慮し審判監督会議で検討する。